

## 索引・総目次凡例

本索引・総目次の内容には、現在の人権尊重の観点から照らしてみると不適切な表現が含まれていますが、「赤い鳥」刊行当時の時代背景やその資料性を鑑みて、原文のまま収録することとしました。この意図をご理解の上、ご利用ください。

- 1 本索引・総目次は、「赤い鳥」創刊号（大正7年7月）から鈴木三重吉追悼号（昭和11年10月）まで全196冊の各号に掲載された内容について記載した。
- 2 記載対象は、以下のとおりとした。
  - ・文学作品（童話・詩・児童劇ほか、科学読物等も含む）
  - ・絵画作品（表紙絵・挿画・口絵ほか。本文や目次に作者名が明記してあるもの）
  - ・童謡（詩・楽譜、地方童謡）
  - ・投稿作品及び選評
  - ・通信、投書類
  - ・その他作品（口絵写真・遊戯法ほか）
  - ・その他（賛助読者名簿・会員募集記ほか）なお、広告は対象外とした。
- 3 記載にあたっては、本文から採ることを原則とし、本文から情報が得られない場合は目次を参照した。
- 4 仮名づかいは本文のとおり記載し、漢字は新字体の使用を原則とした。
- 5 底本での表記が明らかに誤字・誤植と判断されるものについては訂正し、活字の欠損や印刷の不具合などにより判読不可能な箇所は、\*印で表記した。
- 6 作品名に付せられた小見出しや投稿者に関する情報などは、「備考」欄に適宜記載した。

### 索引について

- (1) 記載対象の「その他作品」「その他」を除いた後、「作家」「画家」「詩人」「作曲家」「投稿・通信欄」の各索引に分類した。なお、地方童謡の報告者は「詩人」に、投稿作品の選評者は「投稿・通信欄」に含めた。
- (2) 「投稿・通信欄」索引は、作品の内容により「童話」「絵」「自由詩・童謡」「作文・綴方」「通信・投書」に分類し、「内容」欄に表記した。
- (3) 各索引は、作者名のヨミにより五十音順に配列した。作者名のヨミが確定できない場合は、一般的と思われる読み方を推定した。

### 総目次について

- (1) 全記載事項を巻号順に配列した。
- (2) 作品の内容により「文」「絵」「詩」「曲」「投稿」「その他作品」「その他」に分類し、「内容」欄に表記した。「投稿」については、「投稿・通信欄」索引の分類に従って、その内容を（ ）内に表記した。

- \* 著者名のヨミのうち、特に投稿者、投書者については推定によるヨミが多くなっております。情報をお持ちの方は、お手数ですが、当館までご教示いただければ幸甚に存じます。